

認知症地域支援コーディネーター配置事業について

○事業の目的

認知症発症期のできるだけ早い段階において、本人・家族に必要な支援を行うことで、認知症の進行を遅らせるとともに、認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことができるよう、専門的知識を有する認知症地域支援コーディネーターを各地域に配置する。

認知症への理解を深めるため支え合いの担い手となるサポーターを養成し、認知症の方が積極的に社会参加できる環境を整備するとともにサポーターの支援により自立した生活が実現できる地域づくりを促進する。

○配置場所と実施体制

総合リハビリテーションセンター みどり病院に認知症地域支援コーディネーター1名を専従配置

○業務委託開始期間

令和3年5月1日より

○主な業務と連携先

- ① 医療・介護等支援ネットワークの形成
→ 地域包括支援C、支え合いSC、医療機関等と連携
- ② 地域資源（認知症カフェ等）の開発支援
→ 支え合いSCと連携
- ③ 地域における認知症サポーターの養成
→ サポーター養成研修委託業者等と連携
- ④ チームオレンジの立ち上げ支援
→ 地域包括支援C、自治会町内会、支え合いSC等と連携
- ⑤ 相談業務（診断直後等）
→ 医療機関、地域包括支援Cと相互連携

○現在の実施状況

- ・活動エリアの選定
- ・関係機関等からの情報収集による地域の実態把握
- ・認知症サポーターの養成講座の企画